



浅賀 奏哉 くん  
「食べるのだいすき〜★」  
(別所)



大内ことは ちゃん  
「クリスマスにのって  
元気いっぱい!」  
(山田)



逸見 龍叶 くん  
「ねえね、だいすき♡」  
(寺尾)



近藤 麻帆 ちゃん  
「道生わっしょい!!」  
(下影森)



応募方法

1〜1歳半程度の市内在住のお子さんの写真を同封し、住所・保護者の氏名・電話番号・お子さんの氏名(ふりがな)・性別・生年月日・コメントを明記の上、秘書広報課までご応募ください。(メールの場合は、件名に「わが家のアイドル」、本文に必要事項を入力し、500KB以上の画像を添付の上、hisyo@city.chichibu.lg.jp まで) 抽選に漏れた方も、2歳になる月まで再抽選します。  
※携帯電話のカメラで撮影する場合は、サイズを2M(1080×1920)以上に設定してください。

夢をかなえる 未来にはばたく

秩父地域の高校

「株式会社 小鹿野高校」

(小鹿野高等学校)

小鹿野高等学校は、探究活動を推進している学校です。3年生の総合的な学習の時間(2年生は「総合的な探究の時間」として実施)では、小鹿野町や地域おこし協力隊などと連携・支援を受けながら、総学委員会の生徒を中心に探究活動を行っています。

探究テーマは「株式会社 小鹿野高校」に決定し、地域活性化に向けて各部署(イベント部門・ビジネス部門・ハッピー田舎化大作戦部門・グルメ部門)を編成しました。そして、生徒が4つの部署のいずれかに配属され、各部門での地域の課題等についてディスカッションして、課題解決に向けて探究します。今後は、町内各地で2回フィールドワークを行い、主体的に解決策を導き出すとともに、各部内報告会や全体報告会などを行い、プレゼンテーション能力を高めていきます。本校の最新情報は、学校HPなどでお知らせしていますので、ぜひご覧ください!



市民文芸

俳句

<p>(評) 加藤さんは勉強家、秋の夜長に季語の解説書・歳時記を読んでいる。季語を使いこなすことが重要だからだ。水をまく齋藤さん、雷雨がくるのを待っているのだろう。畑仕事に専念する竹村さん、暑さを麦藁帽子でしのぐ。榎本さん、仁王へ供えた甘酒を見て、信仰への厚さを思い。白石さんは、故郷に帰らず、盆送りの行事を済ませた。千島さんは、白百合の写真をメールで送られてくるのを心待ち。小川さんは、露が晴れた朝の、白色の一日花を咲かせている沙羅を愛で、黒岩さんは、かわいい孫と手をつないで西日を浴び、原さんは夕暮れの法師蟬に心を寄せる。福田さんの家族はおしゃべりを止め、ちちろ(蟋蟀)の声を聞いている。</p> <p>※次回11月号は短歌を掲載します</p>	<p>選 関田 誓炎</p> <p>晩学の歳時記捲る秋の夜 ホースの手止め遠雷に耳澄ます 畑に居て麦藁帽子に日の強し 仁王門甘酒二缶供物あり 帰郷せず襟を正して盆送る 白百合の咲きたる写メの来る日なり 朝靄の音なく晴れて沙羅の花 孫と手をつなぎ眺める大西日 暮れ方の名残を惜しむ法師蟬 ちちろ鳴く饒舌はたととぎれけり</p> <p>日野田町 加藤しげ子 吉田久長 齋藤 大仙 栃谷 竹村善三郎 黒谷 榎本 久 黒谷 明石日津子 三峰 千島サマ井 荒川賛川 小川 和子 日野田町 黒岩 信江 日野田町 原 和幸 道生町 福田 みつ</p>
--	--

俳句、短歌の応募は、住所・お名前(ふりがな)を明記の上、必ず通常はがきで秘書広報課までお送りください。1通に2句または2首まで、各1通までです。

俳句 10月末締切→12月号に掲載

短歌 11月18日(水)締切→1月号に掲載